

## 平成25年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 コシダカホールディングス

コード番号 2157 URL <http://www.koshidakaholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員グループ管理担当 (氏名) 土井 義人

TEL 027-280-3371

四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日

配当支払開始予定日

平成25年5月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年8月期第2四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第2四半期	16,370	3.3	2,191	△2.5	2,256	△0.1	2,054	69.3
24年8月期第2四半期	15,850	14.1	2,247	36.4	2,259	41.5	1,213	△38.0

(注) 包括利益 25年8月期第2四半期 2,117百万円 (167.2%) 24年8月期第2四半期 1,266百万円 (△37.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第2四半期	216.77	—
24年8月期第2四半期	126.44	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第2四半期	21,821	45.2	10,215	45.2		
24年8月期	20,043	39.9	8,283	39.9		

(参考) 自己資本 25年8月期第2四半期 9,865百万円 24年8月期 8,004百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	17.50	—	17.50	35.00
25年8月期	—	25.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,954	6.5	4,950	21.4	4,985	21.7	3,400	49.2	351.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

なお、第1四半期連結会計期間より、重要性が増した株式会社韓国コンダカを連結の範囲に含めております。  
また、全株式を売却したことにより連結子会社であった株式会社スポーツを連結の範囲から除外しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 有  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P3  
「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会社上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年8月期2Q	9,600,000 株	24年8月期	9,600,000 株
25年8月期2Q	122,599 株	24年8月期	122,574 株
25年8月期2Q	9,477,408 株	24年8月期2Q	9,599,968 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再示 .....	4
(2) 表示方法の変更 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の緩和と米国経済の復調などにより低迷していた輸出が回復しだし、安倍政権が打ち出した新政策に対する期待感から個人消費及びサービス支出が上昇に転じてきたため、景気は全体的に浮揚傾向であり、この状態は暫く続く可能性があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### 【カラオケ】

個人サービス支出の上昇に伴い、サービス消費の中身の多様化も進展したため、他の娯楽関連業種との競合が目立つようになりました。またカラオケ業界内でも、大手チェーンを始めとして出店意欲が旺盛で、顧客獲得競争は更に厳しくなっております。

このような競争環境において、既存業態の一層の強化を図ると共に、新しいサービスやシステムを考案し提供し、そして業態としての確立を図っていくことを重要と位置づけ、各種試みを行っております。

既存業態である「まねきねこ」の更なる進化と店舗展開のために、第一に店舗営業力強化を目的とした社内教育制度の運営の充実、第二に店舗運営におけるオーナーシップの発揮およびモチベーション強化を目指す社員独立制度の拡充、第三に店舗形態の見直し革新と出店コストの適正化実現のための実証研究などに取組んでおります。

新業態としてスタートした「ワンカラ」は、今後の更なる店舗展開と業態の販売を展望し、その準備を進めております。

そして、カラオケに対するお客様の多様なニーズに応えるために、新たなカラオケシステムの開発と実用化に力を注いでおります。

当第2四半期連結会計期間末の国内店舗数は、前連結会計年度末比3店舗増加（新規出店6店舗、閉店3店舗）し326店舗となりました。

この結果、カラオケセグメントの売上高は92億81百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益は12億56百万円（前年同期比17.9%減）となりました。

#### 【カーブス】

加盟事業者による質の高い多店舗運営と安定的な出店展開を実現可能とするために、顧客サービスの更なる革新と会員獲得プロモーションの変革を行うとともに、店舗運営のマネジメント力の強化と現場社員の育成に、加盟店とフランチャイズ本部が一丸となって、取組んでおります。

その結果、1店舗あたりの会員数は増加し、加盟店の経営状態は更に安定し、追加出店も順調に進み、店舗数と会員数は着実に増加しております。

また、会員によるプロテインの定期購入数も着実に増えてきており、通販売上も拡大しております。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、前連結会計年度末比51店舗増加（増加率4.2%）し1,248店舗（内グループ直営店44店舗）に、会員数は15千人増加（増加率3.0%）し518千人となりました。

この結果、カーブスセグメントの売上高は60億15百万円（前年同期比25.1%増）、セグメント利益は11億76百万円（前年同期比44.7%増）となりました。

#### 【温浴】

当社グループが培ってきた「居抜き出店方式」のノウハウを活用して、温浴施設の再生による多店舗展開を進めております。当第2四半期連結累計期間においては、11月に福岡県に「イオン志摩湯処まねきの湯」を開設し、合計7店舗となりました。

この結果、温浴セグメントの売上高は7億78百万円（前年同期比241.7%増）、セグメント損失は2億円（前年同期比1億58百万円損失額増加）となりました。

#### 【不動産管理】

不動産管理セグメントの売上高は2億94百万円（前年同期比182.6%増）、セグメント利益は2億2百万円（前年同期比36.7%増）となりました。

なお、平成24年10月10日付の株式会社スポーツの株式譲渡により、当社グループはボウリング事業から撤退いたしました。

以上により、当社グループ（当社及び連結子会社）の当第2四半期連結累計期間の売上高は163億70百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益21億91百万円（同2.5%減）、経常利益22億56百万円（同0.1%減）、四半期純利益は20億54百万円（同69.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ17億77百万円増加し、218億21百万円(前連結会計年度末比8.9%増)となりました。

(流動資産)

流動資産は44億79百万円増加し118億85百万円(同比60.5%増)となりました。これは主に、現金及び預金が43億23百万円増加したことなどによるものです。

(固定資産)

有形固定資産は33億27百万円減少し63億19百万円(同比34.5%減)となりました。これは主に、土地が19億34百万円、建物及び構築物が9億89百万円及び車両運搬具及び工具器具備品が3億84百万円減少したことなどによるものです。

無形固定資産は3億14百万円増加し11億88百万円(同比35.9%増)となりました。これは主に、ソフトウェア仮勘定が5億4百万円増加した一方で、のれんが1億55百万円減少したことなどによるものです。

投資その他の資産は3億11百万円増加し24億27百万円(同比14.7%増)となりました。これは主に、長期貸付金が4億33百万円増加した一方で、敷金及び保証金が2億25百万円減少したことなどによるものです。

固定資産の総額は27億2百万円減少し99億35百万円(同比21.5%減)となりました。

(流動負債)

流動負債は6億12百万円増加し78億54百万円(同比8.5%増)となりました。これは主に、未払法人税等が6億55百万円増加したことなどによるものです。

(固定負債)

固定負債は7億67百万円減少し37億51百万円(同比17.0%減)となりました。これは主に、長期借入金が2億45百万円及び社債が1億20百万円減少したことなどによるものです。

負債の総額は1億54百万円減少し116億5百万円(同比1.3%減)となりました。

(純資産)

純資産は19億32百万円増加し102億15百万円(同比23.4%増)となりました。これは主に、利益剰余金が18億81百万円増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末と比較して43億22百万円の増加(前年同期は1億40百万円の減少)となり、86億30百万円(前年同期は39億59百万円)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における営業活動の結果、23億91百万円の資金増加となりました。前年同期は17億89百万円の資金増加であり、6億1百万円資金増加額が増えています。これは主に、税金等調整前四半期純利益が13億23百万円及び減損損失が2億21百万円増えた一方で有形固定資産売却益が15億22百万円および法人税等の支払額が2億12百万円減ったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、25億28百万円の資金増加となりました。前年同期は12億94百万円の資金減少であり、38億22百万円資金増加額が増えています。これは主に、有形固定資産の売却による収入が37億25百万円増えたことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、6億12百万円の資金減少となりました。前年同期は6億37百万円の資金減少であり、25百万円資金減少額が減っております。

これは主に、長期借入金の返済による支出が4億21百万円、長期借入れによる収入が2億円及び担保提供預金が1億48百万円減ったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月8日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

### (2) 表示方法の変更

前第2四半期連結累計期間において、「営業外収益」に計上していました一部の「協賛金収入」につきましては、売上拡大に伴って今後も発生が見込まれ、かつ、重要性も高まってきたため、表示方法を再検討した結果、実質仕入値引として「売上原価」に含めることが、会社の経営管理活動の実態をより適切に反映させるとの判断に基づき、前連結会計年度より「売上原価」に含めて表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前第2四半期連結累計期間の連結損益計算書において、「営業外収益」に計上していた「協賛金収入」34,036千円は、売上原価20,317千円、「営業外収益」の「協賛金収入」13,719千円として組み替えております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,333,530	8,656,895
受取手形及び売掛金	1,172,589	1,192,501
商品	400,332	569,725
原材料及び貯蔵品	128,436	121,666
その他	1,382,711	1,358,148
貸倒引当金	△11,570	△13,067
流動資産合計	7,406,029	11,885,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,610,798	3,620,899
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	1,639,569	1,254,758
土地	3,347,638	1,413,638
リース資産(純額)	49,199	30,099
有形固定資産合計	9,647,206	6,319,396
無形固定資産		
のれん	409,197	253,640
ソフトウェア	220,915	189,062
その他	244,213	745,916
無形固定資産合計	874,326	1,188,618
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,549,268	1,323,986
その他	685,906	1,117,886
貸倒引当金	△118,896	△14,442
投資その他の資産合計	2,116,278	2,427,430
固定資産合計	12,637,811	9,935,446
資産合計	20,043,841	21,821,317

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	967,424	1,067,125
1年内返済予定の長期借入金	1,264,985	1,206,597
1年内償還予定の社債	240,000	240,000
リース債務	35,437	25,499
未払法人税等	999,920	1,655,737
賞与引当金	202,699	189,887
預り金	1,181,562	1,154,176
その他	2,349,501	2,315,397
流動負債合計	7,241,531	7,854,421
固定負債		
社債	1,800,000	1,680,000
長期借入金	1,947,846	1,702,023
リース債務	17,571	6,104
退職給付引当金	16,627	335
資産除去債務	330,419	219,790
その他	406,210	142,764
固定負債合計	4,518,676	3,751,018
負債合計	11,760,207	11,605,439
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	493,600	493,600
資本剰余金	483,600	483,600
利益剰余金	7,329,641	9,210,781
自己株式	△299,957	△300,013
株主資本合計	8,006,883	9,887,968
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,672	△54
為替換算調整勘定	—	△22,118
その他の包括利益累計額合計	△2,672	△22,172
少数株主持分	279,422	350,082
純資産合計	8,283,633	10,215,878
負債純資産合計	20,043,841	21,821,317



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
売上高	15,850,065	16,370,056
売上原価	11,181,349	11,611,869
売上総利益	4,668,716	4,758,186
販売費及び一般管理費	2,421,193	2,567,115
営業利益	2,247,522	2,191,070
営業外収益		
受取利息	2,484	7,992
受取配当金	48	39
協賛金収入	13,719	18,158
為替差益	—	24,793
その他	28,292	40,702
営業外収益合計	44,544	91,686
営業外費用		
支払利息	18,616	15,894
その他	13,670	9,979
営業外費用合計	32,287	25,874
経常利益	2,259,779	2,256,883
特別利益		
固定資産売却益	14,280	1,536,491
関係会社株式売却益	—	1,003
特別利益合計	14,280	1,537,494
特別損失		
固定資産売却損	3,626	18,500
固定資産除却損	44,588	4,999
減損損失	4,754	225,989
特別損失合計	52,969	249,489
税金等調整前四半期純利益	2,221,091	3,544,887
法人税、住民税及び事業税	914,061	1,598,734
法人税等調整額	41,617	△183,964
法人税等合計	955,678	1,414,770
少数株主損益調整前四半期純利益	1,265,412	2,130,117
少数株主利益	51,596	75,660
四半期純利益	1,213,815	2,054,456

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,265,412	2,130,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	953	2,618
為替換算調整勘定	—	△15,386
その他の包括利益合計	953	△12,768
四半期包括利益	1,266,366	2,117,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,214,769	2,041,688
少数株主に係る四半期包括利益	51,596	75,660

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,221,091	3,544,887
減価償却費	856,269	849,120
減損損失	4,754	225,989
のれん償却額	154,873	155,557
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,928	△12,811
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,750	△560
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13,734	△581
受取利息及び受取配当金	△2,532	△8,031
支払利息	18,616	15,894
有形固定資産売却損益(△は益)	△10,653	△1,517,991
売上債権の増減額(△は増加)	△77,652	△108,973
たな卸資産の増減額(△は増加)	△98,281	△192,401
仕入債務の増減額(△は減少)	84,115	131,223
その他	△243,774	206,682
小計	2,908,268	3,288,003
利息及び配当金の受取額	1,025	8,031
利息の支払額	△18,845	△15,992
法人税等の支払額	△1,100,968	△888,759
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,789,479	2,391,283
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,077,128	△652,491
有形固定資産の売却による収入	20,594	3,746,087
無形固定資産の取得による支出	△139,535	△468,096
投資有価証券の売却による収入	5,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	440	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△52,714
敷金及び保証金の差入による支出	△76,838	△64,373
敷金及び保証金の回収による収入	8,763	323,134
貸付けによる支出	△66,952	△360,577
貸付金の回収による収入	7,164	58,449
定期預金の増減額(△は増加)	12,499	△1,203
その他	11,795	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,294,198	2,528,175
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△1,525,246	△1,104,211
社債の償還による支出	△120,000	△120,000
リース債務の返済による支出	△20,314	△14,929
自己株式の取得による支出	△133	△55
配当金の支払額	△120,000	△167,998
少数株主への配当金の支払額	—	△5,000
担保提供預金の増減額(△は増加)	148,072	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△637,620	△612,195
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,771	6,874
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△140,568	4,314,138
現金及び現金同等物の期首残高	4,100,376	4,308,046
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	8,023
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,959,808	8,630,208

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	カラオケ	カーブス	ボウリング	温浴	不動産管理	計			
売上高									
外部顧客への売上高	9,233,863	4,809,314	1,474,937	227,872	104,078	15,850,065	15,850,065	—	15,850,065
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	185,896	185,896	185,896	△185,896	—
計	9,233,863	4,809,314	1,474,937	227,872	289,974	16,035,961	16,035,961	△185,896	15,850,065
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,531,006	812,970	△22,629	△42,458	148,418	2,427,307	2,427,307	△179,784	2,247,522

(注) 1. セグメント利益の調整額△179,784千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上 額 (注) 2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理	計			
売上高								
外部顧客への売上高	9,281,901	6,015,538	778,533	294,082	16,370,056	16,370,056	—	16,370,056
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,281,901	6,015,538	778,533	294,082	16,370,056	16,370,056	—	16,370,056
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,256,446	1,176,759	△200,779	202,844	2,435,271	2,435,271	△244,200	2,191,070

(注) 1. セグメント利益の調整額△244,200千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「カラオケ」セグメントにおいて、閉店予定店舗及び営業不振により投資額の回収が困難と見込まれる店舗について225,989千円の減損損失(特別損失)を計上しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、「その他」に含まれていた「温浴事業」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

平成24年10月10日付の株式会社スポーツの株式譲渡により、当社グループはボウリング事業から撤退いたしました。

前連結会計年度より「表示方法の変更」に記載のとおり「営業外収益」に計上していましたが一部の協賛金収入を売上原価に含めて表示することに変更したため、前第2四半期連結累計期間については、当該表示方法の変更を反映した数値を記載しております。